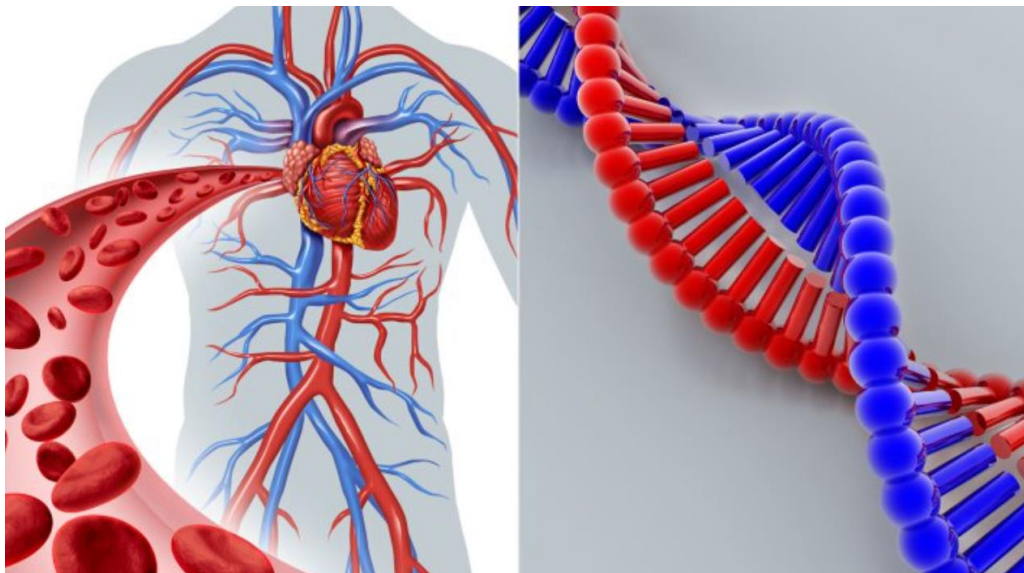


# 家族性高コレステロール血症に 対する遺伝子検査

家族性高コレステロール血症（FH）では、遺伝子検査を標準検査とすべきという知見が、「Journal of the American College of Cardiology（JACC）」誌に掲載されました。



具体的には、低比重リポ蛋白受容体、アポリ  
ポ蛋白 B、プロ蛋白転換酵素サブチリシン/ケキ  
シン 9 型をコードする遺伝子の検査を行うよう  
推奨しています。



「遺伝子検査により、診断の向上、より効果  
的なカスケード検査（親族に対する検査）、早  
い年齢での治療の開始、より正確なリスクの層  
別化が期待される」と報告しています。